

KENZAI NAVI

Journal

建材と建築家の情報誌

Vol.
20
2023

Special Interview

一般社団法人
東京都建築士事務所協会会長 児玉耕二
デジタル化が示唆する新たな指針
「リアルとの融合」

Project Story

出会いと創造

自然素材だから叶う「経年美化」
優雅さや余裕に満ちた暮らしへ



Prairie Homes
ブレイリーホームズ株式会社

archidate design Inc
アーキデイト デザイン



KENZAI NAVI
Journal

「建材ナビジャーナル」 Vol.20 発行：株式会社クロクランス 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-4 KUSAFUKA Bld.4F Tel.03-3225-3569

暮らしを変える、
音から変える

防音・遮音 へのこだわり

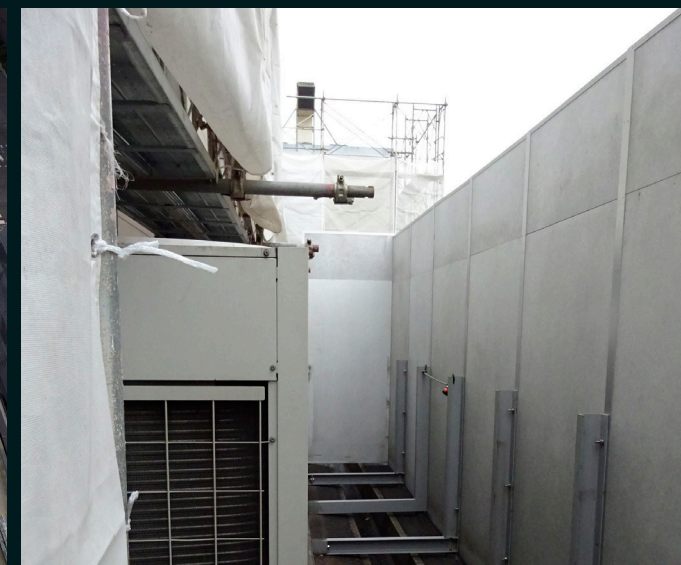
工業用に特化した騒音対策用吸遮音パネルです。工場の機械・機器の騒音対策用の防音ボックスや防音ルーム、防音壁等の素材・建材として屋内外でご活用いただけます。また、一般住宅の室外機の騒音対策にも対応しております。

室内外使用可能。薄くて頑丈な防音パネル

パネル1枚で低周波～高周波の吸音・遮音効果が可能です。マンションや住宅の室外機、エコキュートなどの防音壁として活用ができます。また、工場や機械音対策用にも有効な防音パネルです

一人 静

Hitorishizuka TypeA



株式会社 静科
<https://www.hitori-shizuka.jp/>

〒243-0807
神奈川県厚木市金田492-1
電話 046-224-7200





CONTENTS

2023
Kenzai Navi
Journal

Special Interview

デジタル化が示唆する新たな指針 「リアルとの融合」

新たな時代に適応する解決策を、多様な選択肢から

Manufacturer

EV が身近にある環境が、あらゆる社会課題の解決に繋がる
Terra Motors 株式会社

Manufacturer

快適性と安全性を目指して、居住環境に新たな価値を創造する
オイレス ECO 株式会社

Manufacturer

外付けブラインドで太陽光を自在にコントロール。年間を通して快適ライフをお届けします。
オスモ & エーデル株式会社

出会いと創造 — プロジェクトストーリー —

Project Story

自然素材だから叶う「経年美化」。優雅さや余裕に満ちた暮らしへ
プレイリーホームズ株式会社 × アーキテイト デザイン

Project Story

西陣織が奏でる光のグラデーション。インテリア際立つ究極の伝統美を追及
株式会社加地織物 × 株式会社 サム・メイヤー

建築家の見る光景 — 「人と建物」が紡ぐストーリー —

Architect

デジタル社会の環境下で求める「本物」「普遍的」であることの意義とは
藤田 慶 株式会社フジタケイ建築設計事務所 / KFA

Architect

こだわりの強いお客様の時ほど満足度の高い建物に仕上がる
石井 勇人 株式会社 studio acca

Information

建材ナビ&かたなび



ショールームすぐ見つかる

SHOWROOM NAVI



Special Interview

DX で大きく広がる
可能性とそこから見える
「バーチャル」と「リアル」
の相互関係とは



デジタル化が示唆する新たな指針 「リアルとの融合」

大都会東京で活動する建築士事務所を束ねる一般社団法人東京都建築士事務所協会。DX 対応が世界の潮流となる今、建築界におけるその存在意義は大きい。本日は自らも建築家として豊富なキャリアと経験を活かし、東京都建築士事務所協会の会長を務める児玉会長に協会の活動と展望について伺った。

児玉 耕二

こだま こうじ

宮崎県生まれ。東京大学大学院修士課程修了。株式会社久米設計入社。同取締役副社長を経て現在、同顧問。2017 年 11 月に一般社団法人東京都建築士事務所協会会長に就任。2020 年 6 月一般社団法人日本建築士事務所協会連合会会長に就任。

一般社団法人
東京都建築士事務所協会
03-3203-2601



協会のベースは仲間意識と 地域貢献

——本日はよろしくお願いいたします。最初に協会の役割についてお話を伺いたいと思います。

児玉 建築士事務所協会は、全国47都道府県にそれぞれあります。東京都にあるのが東京都建築士事務所協会で、設計業界の発展に寄与するべく、いわゆる建築士事務所を経営する経営者、あるいは開設者の方々が集まっています。

また、近年ものすごい勢いで変わる建築法規について行くための研修実施なども不可欠です。行政への働きかけと共に、仲間意識を持つて助け合うということも本協会を構成する重要なベースになっています。

東京都建築士事務所協会は23区に各1支部、プラス多摩地区に6支部と合計29の支部があります。狭い東京都とはいえ、やっぱり東方の下町地区と西方の多摩地区では、設計活動としての条件が違ってくるので、そういう意味で地域

うのは非常にいいことなので、意外な建築士の側面として、プロジェクトをまとめに行くという仕事を平日頃

やっているのが、プロジェクトマネジメントといいますが、状況やニーズに応じて、前裁きができるのが建築士の特徴なのです。この相談なら弁護士さんに、そこらは家屋調査士さんに、あるいは区役所に言ってくださいなどの的確な助言ができるのも、建築士が便利がられている所以なのです。

このように地域に密着しているのが東京都建築士事務所協会を中心とした支部であり、もう一方で全国的に展開しているのが連合会という組織で、略称「日事連」とも呼ばれています。

——なるほど、地域別による事情があるんですね。

児玉 国レベルでいうと同じ基準や同じ法律であることに間違いはないのですが、地域による違いはあります。例えば、最近話題になった再生エネルギー促進の指針からカーボンニュートラルのため太陽光パネルを義務付けるなどという話が出ましたよね。これは積雪地帯の屋根にソーラーパネルを付ける話と、それから東京都心の中で隣のビルが迫っているところにどこに付けるんですかという問題点も生じて来るわけですね。

日当たりが良くて、均等に並んでいる戸建て住宅が沢山あるところでは、「ソーラーパネルを大いに進めましょう」で済むのかもしれない

んが全国一律にはなかなかスムーズに行かないところがあるわけですね。

デジタル通信化で見えて来たもの

——確かに。そうですね。ところで、近年よく取り上げられるDX化についてなのですが、やはり、会議やセミナーなどもウェブでできる、非常に便利ですね。

児玉 会議もそう、セミナーなどもウェブで情報の伝達だけで決まることは勉強するには簡単になります。何より自分のオフィスからできるのが非常に便利でいいのですが、一方で微に入り細に入り質問や、本当のノウハウ的なところというのは、直接専門の先生に聞いたり、あるいは会議で仲間に直接聞いたりしないと出てこない部分があるわけですね。

それは皆さん、コロナ禍のこの2年間で結構学ばれていて要領よく、こういう時はウェブ、こういう時はリアル、と使い分けられているようです。

——使い分けることが重要なですね。私たちも情報がいっぱいあり過ぎて、どこからどう処理してよいか迷うことも結構ありますから。

児玉 ええ、そこなのですね。情報はいっぱいあるけれど、それが、どの程度に信頼している情報なのか、というのは、コストパフォーマンスとも関わり、迷うところだと思います。

——実際、何か反響だったり、こうしてほしいなど建築士の方からウェブ通信に関しての要望などはありましたか。

での違いを上手く反映させ、区や市の職員の方と一緒にやって行く必要があります。ボランティア的な地域貢献においても、例えば地震に対応した応急危険の判定員の派遣など、防災協定みたいな話もあるのですが、区ぐらゐのスケール感で対応する方がしっかりと伝わるように思います。

また、例えば東の方の江戸川や墨田などはですね、やはり低い土地で地盤もかなり軟弱なところですからね。杭なども小さな建物も結構長い杭を打っていますので、建材としては杭のメーカーさんがこれらの地域にはアプローチした方が良いでしょう。実情があります。

支部活動の中でも場所によっては土業連携とあって、弁護士だとか、家屋調査士とかいろいろな土業が10個ぐらい集まって地域貢献しているのかなりあります。これは建築相談という名目で相談を受け付けても、



緊急性の高い震災直後の建物の応急危険度判定や、行政庁の主催する様々な委員会や講習会への委員や講師の派遣などを行い、協会内で共有するとともに広く一般社会への貢献に努めている。



建築ふれあいフェア 都民の皆さまが建築とふれあい、楽しみながら建築士事務所について知っていただくことを目的に、毎年、秋ごろに新宿駅西口広場イベントコーナーで実施している。

建築家と小学生が楽しむ交流イベント

——交流イベントの活動などについて、教えてください。

児玉 活動のひとつに『建築ふれあいフェア』という一般市民向けのイベントがあります。これは建築士事務所の仕事内容や、建築設計というもののづくりの面白さを伝えることを目的とし

ており、今年で22回目、もう20年ほど新宿の西口広場で開催しています。

人気のあるプログラムは、例えば児童画コンテストです。小学生に建築の建物の一部、我が家のイメージや夢などを描いてもらい優秀な作品を表彰して飾ったりしています。また、別のプログラムですが、木のブロックを提供して街の形にしたところに、自分で接着剤でくっつけてタワーを作ったり、洋服を作ったりと、「折り紙建築」という立体的に折り紙を組み立てる

ものをやったりしています。

——折り紙建築、知っています。

児玉 もちろん建築相談もそこでやっていました、そこに立ち寄った人々や子供たちが折り紙を折った時に何か建築に興味を持ってもらえば、あるいはそこで案内しているのは全部建築士ですから、建築士事務所が何をやっているかも伝えられます。まあ気楽に話せる相手として一緒に折って折り紙建築を座り込んで作ったり。そういうことをやっているのが『建築ふれあいフェア』です。

ほかにも街づくりのイベントとしては支部活動の中で、それぞれの区や市が開催する街づくりプロジェクト、防災フェア、その他各種フェアなどにも参加するなどしています。

便利なバーチャル機能とリアルとの融合とは

——弊社が運営する「建材ナビ」では建築士の方々にメーカーさんの製品をご紹介し、様々なサービスを通じて設計士と建材メーカーさんのタイアップやコミュニケーションを図るための活動をしています。何か弊社に望まれることなどあればお聞かせください。

児玉 いろいろなことに通じるところは思うのですが、いわばウェブとリアルの融合が必要だと私は思っています。ですから、新しい建材が出たよ、これ安くていいよという情報がウェブ上のカタログで見られる、動画が見られる、そして例えば普段はウェブで出ているけれども、数カ月には一度は実際に触られるような体験型の機会を設けてもらえると良いなと思います。

BIM導入へ向けた準備は万端に

——なるほど、そういうことですね。正会員の方への活動の一環として実施している研修などのうち、特に人気の高いセミナーなどがありましたか。

児玉 時代を超えて安定して人気というのはあまりないのですが、やはりタイムリーなテーマには注目が集まります。新しい技術が出た、新しい法規が出来た、などの際にはやらなくてはいけない。カーボンニュートラルやBIMの導入などもそうですが、特にコロナ禍においては、ウェブを皆さんがやって欲しいということ

で、建築技術というよりウェブ通信技術のセミナーに人気が集中しました。

——そうだったんですね。ところで、BIMの導入については如何だったのでしょうか。

児玉 BIMについては、皆さんある程度基礎学習は終えた段階です。

小規模設計事務所の方々も含め、自分のところで採用するかの判断基準もある程度目途はついていると思います。3次元のBIMを使ってお客さんにプレゼンテーションをする基本構想とか、基本計画の段階はいろいろな案を提案できます。

バーチャルな中でも形が見える、あるいはVRを使えば自分が入っているということをやれますので、お客さんや建築主に対しても評判がよくて人気ですから、営業ツールとしても建築士事務所がそれを使ってやっていくには、効果的だということと言えますね。

ところが、実施設計が終わって、設計図ができ、確認申請をします、という処で確認申請はBIMでは受け取ってくれないのです。

また、建築主もBIMの3次元データを出しすれば済むというものではなく、2次元データでプリントアウトしたものを欲しがるので、BIMで作成したものを2次元に変換するのですが、これが今まで使っていたCADの方が図面としての出来栄が良いのですね。

建築家はどうしても図面にこだわりのあり、美しい図面として提出したいので、確認申請の際や2次元でのアウトプットを考えると、まだまだという処でしょうか。

然しながら、社会全体がBIMに移行するというのであれば、その時は一気に進む準備はできていると思いますよ。

で、相変わらず今までの手書きの図面がいいという人もいれば、2次元CADで俺はそれ

を気に入っているんだという方は、それはそれで、いらっしゃいますよ(笑)。

——そんなんですね。ところで会員同士の交流から生まれたエピソードなどがあればお伺いしたいのですが。

児玉 なかなか、それを協会として見えているかと言われると見えていない。先程出たBIMの話題で言うと、BIMコミュニケーションを作ってほしいという要望はあったのですよ。それは例えば、支部の中だけで、そのレベルが同じぐらいで話し合える仲間がすぐに集まればいいのですが、東京の事務所協会の中でも意見やレベルが合うような人というのはなかなか見つけにくいのが実情です。

例えば、日常的な仕事の上で、建築の意匠屋さんがちよっと設備設計事務所を紹介してほしいというのは最近特に多く、そういうのを繋げる意図で色々な会員の情報などをデジタル化するプロジェクトもこの2〜3年ほど、やっています。

いわば、デジタル上でいろいろな情報をやりくりできる体制が今整ったところなのです。それをどうやって使っていくかは、まだまだ経験が少ない。あるいはこれは東京都の事務所協会だけに限らず、日事連の方でもBIMGATEという形でBIMのポータルサイトを作りました。

うちはBIMで仕事をしていますよ、という人に手を挙げてもらい、リストにすることはできるのですが、マッチングして仲間となり一緒にやってやるかということまでは、まだ行っていない。手を挙げる欄に載せる会社が全国レベルで沢山あり、極端に言えば東京でプロジェクトがあって、それを北海道に事務所を構えている人が助けてもらうという、今のウェブ

環境の中ではできることもあるんですよ。

建築士事務所のマネジメント支援センターというのを2年前ぐらいに立ち上げたのですが、まだパーフェクトな稼働状態にはなっていない。協会に入っている設計事務所の8割ぐらいは10人以下の小規模な事務所で、大きなプロジェクトがあるときだけ一緒に手伝ってもらったりすれば充分運営しているのですね。

そうした設計事務所では例えば、建築の設計は得意だがマネジメントが不得意とか、ホームページを作りたいので作成をヘルプしてほしいとか、あるいは図面もたくさん溜まってきたので、図面の保管サービスがないのか、といった個々の要望が蓄積してきます。

——そんな時に会員同士の良いお付き合いやマッチングなどあれば助かりますね。協会への入会を促すため、どのような活動をなさっていますか。

児玉 会員増強では建築士事務所のマネジメント支援センターで、会員になればセンターからのサービスを受けられますと、明快に言えるので伝えやすいですね。ただ協会に入る一番のメリットはやはり、情報の共有などの仲間意識や助け合い精神の醸成だと思つのですが、そのところは中々伝えにくい、説明しにくいわけです。

現在、会員数が1600社を越える東京都建築士事務所協会なのですが、東京都全体の設計事務所の数は1万社くらいです。でも、これが高齢化、転職など様々な理由から事務所を閉鎖するなど、年々かなりの数が減りつつあります。

そのような中、微増ではありますが事務所協会の会員は増えているのですから、まあまあ上手く進んでいるのではと・・・(笑)。

check

東京都建築士事務所協会
オフィス散歩



ケンチくん 第18回建築ふれあいフェアに参加頂いた方々からのご応募で名前が決まりました。



コア東京 協会の会報誌。建築に関する新たな動向や、建築士事務所として必要な様々な知識を、毎月会員にお届けしている。日事連は、日本建築士事務所協会連合会の会報誌。

topics

令和5年 新春賀詞交歓会が開催される

一般社団法人 東京都建築士事務所協会が主催する「令和5年新春賀詞交歓会」を取材させていただいた。東京・明治神宮外苑に佇む明治記念館「蓬莱の間」にて、恒例の新春賀詞交歓会であるが、コロナ禍の影響を受けて今年は3年ぶりの開催となり、会員および協会関係団体の出席者同士の深い交流の様子が垣間見られた。児玉会長を初め、来賓の方々によ

る祝賀の挨拶には盛大な拍手が贈られ、交歓会は大変な盛況のうちに進められた。最近の緩和政策により、こうした記念すべき交歓会が全国で再開されるようになった新しい年に、出席者の表情からは安堵と喜びが伺え、熱気に満ちた集まりとなった。

令和5年1月30日



今回、建材ナビでは初めての取材参加となりましたが、東京都建築士事務所協会が、コロナ禍以降の対策や対応をしっかりとされた中で、協会の中での人と人との交流をとても大切にされている側面に触れることが出来、とても貴重な取材だったと感じております。今年はより直接顔を合わせた交流の機会も増え、更なる協会のご活躍が期待されると実感致しました。



取材：秋葉 早紀
建材ナビ広報担当

建築に携わる様々なジャンルの御出席者並びに、協会の皆さまに新年度の抱負など伺うことができ、有意義なひとときを過ごしました。

例えば、私が設計のまとめ役をやっていた時代に、新入社員の教育をする場面がありました。ここ20年くらいの新入社員というのは、大体CADの操作、3次元の絵の書き方など、バーチャルの中で、ものすごく手際いいし、理解

た。そうしているうちに、洗面所の高さやテーブルの高さがおおよそ70cm、人間の感覚から、ドアを通れる幅が55cmなら通れるけど、物を持つたらもう少し必要だねというリアルを学ぶことになりま



建築業界のこと、協会のことについて、とても丁寧に語ってくださいました。

しているし、プレゼンテーションも立派なんですよ。ところが、往々にして間違えやすいのは、やはりそのリアルの感覚を掴んでいない。そのリアルな感覚というのが大事なんですよね。具体的に間違った例を挙げますと、カタログ中にドアの押し手引き手というのがあり、デザインもいろいろな形で、格好いいのが沢山あります。新人に自分で設計した建物のドアの押し手引き手の中で、どれかを選ぶとなると写真に載っているカッコいいプロポーションを選ぶのですが、これが間違いでして・・・。

——確かにそうですね。次に建築士の方々のPR活動についてのお話になるのですが、「建材ナビ」では、「プロジェクト・ストーリー」というコンテンツで、建築家と建材メーカーのコラボレーションを紹介しております。これについて期待して頂けるのであれば、お教えください。

児玉 それはね、どんなやって頂いたらよいと思います。建築の設計というのは、些細な部分も含めて全部のものがわかっていないとでき上がってこないものなのです。構造の話も設備の話も、また植栽そして四季折々の違いも、そういうのが全部解っていないとできないところはあるので、建築家はある意味、かなりな物知りで、語らせると結構うるさいですよ(笑)。

DX・カーボンニュートラルへの取り組み

——分かりました、皆さんに読みやすい形でお届けできたらと思います。最後に、東京都建築士事務所協会が積極的に取り入れられているDXとカーボンニュートラルへの今後の取

組みなどについてお伺いしたいのですが。

児玉 方向性といいますか、カーボンニュートラルと言えば、当然ながら省エネという言葉で置き換えられると思うのですが。

実際に、問題は既存建物の改修であり、新築物件であれば、法律や制度で省エネの基準を満たしなさいとなれば絶対基準を守って出来上がっていくわけですよ。

ところが、家を買って、あるいはビルを建てて10年たったものを今の省エネ基準に合わせるように改修しなさいっていうのはこれはなかなかしんどい。実際にオーナーの方もそれやっただからといって家賃が多く入るわけではないですから、そういうインセンティブが付いてくる訳ではない。

今後、単純にそれだけやっているとか、インセンティブがないから改修できないということになってしまいます。分かり易い例えとして、賃貸マンションなどで、カーボンニュートラルや省エネ基準を表示的にAクラス、Sクラスを達成しましたよ、などという表示制度により家賃が少し高くても入ってくれる社会的なインセンティブのベースができればと意味があるのですけどね。

——確かにそうですね。

児玉 それを視野に入れておかないといけませんね。到達にはハードルが高いので、我々だけで何とかなるとは思っていませんが、新築の場合であれば研修と法の徹底だけあればできて来ますよ。建築士事務所というか、建築士の方々は真面目な人が多いから。法律で決まり、技術レベルが上がってくればできると思います。

DX化の中のBIM導入や全体のデジタル化は今後も進んでいくと思いますが、カーボン・ニュートラルについては、日本より欧米の

方が進んでいます。欧米では、オーナーがいればプロジェクトマネジメント的なものをやらなければいけないので。

ところが日本の場合は長い間、建築づくりを施工会社まかせにするなど、いろいろな形でそれを担う人たちがオーナーと別なところになりましたので、オーナーがそれを知らなかったという事情があるのですが、今後は世界的な標準や時代の流れに沿って進んで行くと思います。

——設計者の方もそれに対応しつつ、準備は大体整ってきているということですか。

児玉 まだスタートラインに立っていないかもしれないけど、スタートラインに立つ時に備えて、ランニングシューズとかランニング用の服装ぐらいは、どういふのを買えばいいかわかったぞ、とそんな感じですよ(笑)。

——BIMの今後についてはどうでしょうか

児玉 BIMの教育という意味合いから言えば、もう少し共用で使えるもの、例えばここにBIMのスタンダードアロン型の2、3台置いて貸し出したらどうだという話もあるくらいです。導入に数百万もかかるとしたら、二の足を踏んでしまうのが実情ですから・・・様々な実情から、今ご要望のような完成された具体策とか、明快なビジョンが既に用意されているわけではないので、準備をしつつもそれ等は社会的なニーズに沿って即応体制でやって行きますとしか言いようがないです・・・(笑)。

——いえいえとんでもありません。本日は、大変興味深い貴重なお話をいろいろ伺えまして、勉強になりました。今後とも、貴協会の益々のご発展をお祈りして、インタビューを終了させていただきます。有難うございました。



ヨーロッパでは当たり前の
外付ブラインドを国内で普及
オイレス ECO 株式会社

Manufacturer

新たな時代に適応する解決策を、 多様な選択肢から

建材メーカーのこと、建材業界のこと、製品はどのように生まれるのか、施工実績がどのように社会に影響を与えるのか、ものづくり企業としての、苦労や喜びなどの想いをたっぷり語っていただきました。建材メーカーへのインタビューは、建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリング」でも同時紹介しています。

SumaiRing



ドイツを中心としたヨーロッパの
高品質建材を輸入販売
オスモ & エーデル株式会社



次世代モビリティである EV 産業で
アジアを中心に展開
Terra Motors 株式会社

EVが身近にある環境が、あらゆる社会課題の解決に繋がる



TERRA CHARGE 電動自動車向け充電インフラ。初期コスト・運用コスト無料。工事手配やメンテナンスも不要。EVの充電設備だけでなく、充電時間の設定や料金決済を行う専用アプリ、管理クラウド、サービスの提供開始に必要なマンション管理組合等へのご説明、充電設備の設置工事、ハードおよびソフトの管理運営までを一貫して担っている。



設置場所を選ばないコンパクトな本体。既設マンションに無料で導入できる。Panasonic 社のコンセントと Terra 独自のIoT 機器で高機能ながら無料を実現

——押し製品を教えてください。

日本で2022年4月に新規立ち上げをした「Terra Charge」事業の、EVコンセントが押し製品です。EVの充電設備は設置場所によって最適なハードが異なり、弊社も複数ラインナップしていますが、EVコンセントはマンションや事務所など、車の保管場所に適しています。

弊社のEVコンセントは、アプリに充電料金の決済機能があり受益者負担モデルで運用ができる、設置場所を選ばないコンパクトな本体、充電ケーブルの盗難防止ロック付き、バッテリーに負荷がかかりにくい充電速度など、複数の方がお使いになる環境下において、最高の製品です。

——競合他社が多い中、どのような差別化を図っていますか？

EV充電の設備代やランニングコストが無料であるということが一番の差別化ポイントです。競合他社でも期間限定で月額が無料になったり、現実的には難しい条件下での無料提案はあっても、顧客の課題解決を主眼にした無料を実現できているのは、弊社の強みです。また、マンション設置に特化した小型ハードも含め、幅広いスペックの充電設備を提供できていることも弊社の強みです。長

と、メンテナンスも含めて安定提供をするために日本製であることにこだわっています。

——将来の日本のEVを取り巻く環境はどのようなと思われますか？

EVに乗る、EVを充電するということが当たり前の未来が来ると考えています。マンションの駐車場には、1車室に1基のEV充電設備が付き、夜寝る時にスマホを充電するのと同じように、家に帰ったらEVを充電するようになります。お出かけ先でもあらゆる場所で充電できるようになり、長距離移動後に宿泊施設や商業施設で充電をしたり、どうしても途中で補給が必要な際には、サービスエリアなどの急速充電設備を利用することもあるでしょう。それらすべて、みなさんが当たり前前に、違和感なくやるようになると思っています。

また、「走る蓄電池」と言われるEVの電力を活用する動きも強まるでしょう。電力需給ひっ迫が取り沙汰される中でEVは普及しないと言われることもありますが、決して恒常的に電力が足りていない訳ではなく、ピークタイムは1%に満たないと言われています。そのピークタイムに、逆にEVから電力供給すれば、電力の安定化に寄与することができます。他にも、災害時に電力を供給したり、電力を運んだり、EVが身近にある環境ができれば、あらゆる社会課題の解決に繋がっていくだろうと考えています。

——EV充電インフラ業界で貴社に求められる役割は何だと思いますか？

管理組合から駐車場で充電設備の設置を請け負い、テラモーターズ製EV充電器と、クラウド一括管理のためのIoT機器を設置します。



——製品の主なターゲットとなる使用者や場所などはどのように想定していますか？

年通信機能を持つEVを手掛けて来ているからこそ、ひとつのアプリで複数種類の設備を制御するソフトの開発力と、充電設備本体のハードの開発力、いずれにも大きな自信を持っています。

Terra Motors 株式会社
取締役会長

徳重 徹
とくしげ とおる

1970年生まれ山口県出身、九州大学工学部卒。住友海上火災保険株式会社（当時）にて商品企画・経営企画に従事。退社後、米Thunderbird経営大学院にてMBAを取得し、シリコンバレーにてコア技術ベンチャーの投資・ハンズオン支援を行う。2010年にEV事業を展開するテラモーターズを起業、アジアを中心に展開。その後、2016年にはドローン事業を展開するテラドローンを設立し、世界で勝てる事業の創出へ挑んでいる。



Terra Motors 株式会社
東京都港区新橋 2-16-1
ニュー新橋ビル 802
03-6823-4959



電です。基礎充電とは自宅や事務所など、車の保管をする場所での充電です。弊社ではとりわけマンションやオフィスをターゲットにしています。目的地充電とは、移動の目的地となるお出かけ先での充電です。宿泊施設や観光地、商業施設などが該当します。EVの補給は、ガソリンと異なり一定の時間が必要となります。そのため、駐車時間が長いところや、長くなっても他にやることがある場所へ、充電環境を整備することに力を入れています。

——製品への信念、こだわり、コンセプトなどお聞かせください。

弊社が事業開発において大切にしていることは、マーケットに拡張性があること、そしてマーケットで求められるものであることです。EVは世界的な流れを見ても、これからのマーケットに期待ができることは言うまでもありません。EV充電も同様にマーケットの成長はこれからです。

我々は決して参入が早かった訳ではありませんが、社会課題を解決するソリューションの提供ができたことで、日本のEV充電サービスの中でも大きな注目を集めることができています。日本でも2022年のEV販売台数は前年比3倍以上となり、弊社もさらなる成長を目指しています。

また、マーケットで求められる製品であることも重視しています。弊社のインフラは使っていただかないと利益が出ないビジネスモデルであるため、そういった点でも、導入数を伸ばしながらユーザーに求められ続けるサービスである必要があります。常に使い続けていただけるように、価格 機能 利便性などにもこだわっています。



充電所へ到着したら車載充電器を接続し、アプリから充電開始ボタンをクリック。アプリで充電を途中で終了することも可能。

今回一押し製品としてご紹介したいのは、弊社近江工場で製造している製品、住宅の窓の外に取り付ける外付ブラインド「ブライユ®」です。本製品は30年も前に開発され今まで累計10万台以上の出荷してきた製品です。新築時でもリフォーム時でも設置できます。

また、台風のある日本の四季を配慮して頑丈に作られており、その用途は多岐に渡ります。最近、新型コロナウイルス感染防止のための換気時にブラインド状態で使用したいというご要望や、物騒な事件が多く起きるため、「侵入への抑止力」としてお問い合わせいただくことが増えたのは、頑丈な本製品だからこそです。今まさに時代とマッチしていると自負しています。

よく比較されるシャッターに比べてしまうと高額製品ではありますが、多くのメリットや様々な用途で使用可能なので、ご満足いただけると思います。時にはシャッターのように堅牢で、時にはブラインドのように気軽にお使いいただけます。ブライユ®は私たちにとって最も身近でクリーンなエネルギーである太陽光と上手に付き合ふことができる製品ですので、夏場は特に室内における体感温度が変わり、空調負荷の低減にも寄与します。長い目で見ていただく「設置してよかった」と実感いただけるでしょう。

——競合との差別化はどのように図っていますか？——

オイレスの製品はトライボロジー（摩擦・消耗潤滑の技術）とダンピングテクノロジー（運動エネルギーを減衰する技術）が基となっています。

つまり「ものを動かすことが得意な会社」です。私たちはお客様の要望、お困りごとに寄り添い、市場創造型の研究開発メーカーと

して、日々取り組んでいます。製品のすべては使用者の快適性、操作性、安全性など配慮しつつ、厳しい目で繰り返しデザインレビューを行い量産化されていますので、お客様の満足度が高いところに自信があります。

——今後の方向性または展望などをお聞かせください。——

外付ブラインドはヨーロッパでは当たり前のように家々の窓に設置されています。

私たちは今後のブライユ®を日本国内でも普及するよう広告宣伝・商流の工夫や製品改良・開発に力を入れて活動していきます。

また、IoTを導入して住宅全体の省エネ、脱炭素に貢献できるような製品に成長させたいと考えています。



温泉旅館の
露天風呂付き客室

予想しなかった 活用ニーズ

コロナ禍には温泉旅館で露天風呂付きの客室が人気であったと聞きます。ブライバシーを守りながらも景色を眺めることができる「ブライユ」モデルの特注仕様が本用途で採用される機会が増しました。お客様のご要望に合わせてカラーはもちろんのこと、「音鳴り防止」「誰もが簡単に操作できるハンドル形状」など、それぞれカスタマイズしたものを納入しています。



猫ちゃんが外を眺め、
匂いを感じられる

ペットと暮らしている方が換気や飛び出し防止のために設置されることはこれまで多くありましたが、猫ちゃんがいつでも外を眺めたり、外の匂いを嗅げるように設置してあげたい、というご要望は初めてでした。こちらは既存住宅への後付けで設置させていただきました。

まだまだある。予想しなかった使われ方！

勝手口ドアの防犯目的として
通風ドアの通風時、網戸だけの不安対策として抑止効果を見込んで設置。

病院や銀行の受付カウンターのシャッター代わりとして
閉店後オープンスペースの気配を感じ取れる目的で設置。

屋外・渡り廊下に雨除けとして
晴天時は全開状態、雨天時はブラインド状態での使用目的で設置。

多目的ホールの上映会時の暗幕代わりとして
ブラインドなので完全な遮光はできないことをご了承のうえでの設置。

空気と光
を通す

住宅の窓の外に取り付ける外付けブラインド
ブライユ® 全開から全閉へ

開閉も角度調整も自由自在

電動のモデルは障害物検知機能を標準装備。また、ブラインドのルーバーが一枚ずつ重なる収納されていくため、開閉時の作動音はとて静か。



全開

45度

開放中

全閉



外付ブラインドブライユ®の外観 日よけ、西日対策、採光、通風、換気、目かくしといった様々な優れた特徴を持ち合わせている。



外付ブラインドブライユ®の内観 外からの視線など気にすることなく安心して窓を開け、自然の風を取り込むことができる。1年を通してエアコンの使用率を減らし効果も。

——一押しの製品を教えてください。——

私たちオイレスECOの主力製品はもしもの火災の際に避難するための時間を稼ぐ排煙換気窓用開閉装置「ウィンドウオペレーター®」であり、この度のコロナ禍では換気のために全国各地で多く使用されました。

オイレス ECO 株式会社
住宅機器営業部 大阪営業所長
加藤 久 詔
かとう ひさあき

オイレス ECO では、外付ブラインド「BRILL（ブライユ）」を通してお客様の窓周りにおけるさまざまなお困りごとを解決することで日本の四季をより快適、安心、安全に過ごしていただけるようなご提案を心掛けています。

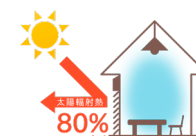


オイレス ECO 株式会社
東京都品川区西五反田2-28-5
第2 オークラビル 4階
03-5435-5461



一押し
製品！

住宅の窓の外に取り付ける外付けブラインド
ブライユ®の4つのメリット



暑い夏を涼くすこせる

室内に熱を入れないことは夏場の暑さ対策ではとても重要。窓の外で太陽の熱をカットすれば室温は最大で3℃下がる。西日対策にもとても効果的。



風通しのいい家でくらすえる

自然の風が心地よい季節は、さわやかな風が通り抜ける心地よい空間が人とペットの心身の健康を保つ。



ブライバシーを守る

分厚いカーテンや雨戸を開めっぱなしという生活から解放。上手く角度調整することで、「室内から外は見えない」という状態を作ることが可能に。



暴風雨から家を守る

風速44m/s相当の耐風圧試験をクリア。閉め切らず少しだけ風が抜けるようにルーバー角度を調整すれば、窓ガラスの破損被害を減らす効果も。破損時でもルーバーを一枚ずつ交換可能。

30年も前に開発され今まで累計10万台以上の出荷。新築時でもリフォーム時でも設置できます。



パッシブハウス認定予定の住宅での採用事例 南面に断熱性能に優れた大きな窓があり、明るくて開放的なリビングが特徴。できるだけ太陽の光を取り込むことができる一方で、外付けブラインドヴァレーマで、適度に太陽の光をコントロールしていただいています。

WORKS

高気密・高断熱なパッシブデザインの住宅

設計施工：株式会社ファブワークス



WORKS

ZEB（ゼロエネルギービル）のオフィス

設計：株式会社まぎし建築設計事務所



ZEBのオフィスでの採用事例 ハーレーダビッドソンのカスタム用パーツの輸入販売会社の社屋。大きい窓から適度に太陽の光を入れる一方、不快な熱はカット。太陽光を追尾して自動制御するシステムも導入しており、「羽根が自動で最適な角度になっているので、心地よさを感じている」というお声をいただいています。

ドイツを中心としたヨーロッパの高品質建材を輸入販売 外付けブラインドで太陽光を自在にコントロール 年間を通して快適ライフをお届けします。

― 事業内容について教えてください。 ―

弊社は、ドイツオスモ社やヴァレーマ社などから、ヨーロッパの高品質な建材を輸入し、販売しています。

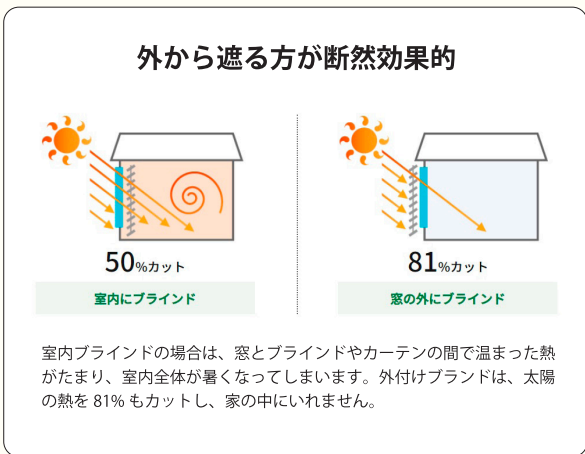
人にやさしく環境にやさしい建築、快適な住まいづくりのお役に立てるような、品質の良い本物の建材をご提供するとともに、ドイツを中心としたヨーロッパの健康で快適なライフスタイルのご提案もしています。

― 押しの製品を具体的に教えてください。 ―

今回特にご紹介したいのは、外付けブラインド「ヴァレーマ」です。ヴァレーマは、窓の外につけるブラインドです。

窓には、採光、通風、換気、眺望の確保などさまざまな役割があります。一方で、時期や方角によっては、窓から日差しが多く差し込み、暑すぎたり眩しすぎることがあったり、場所によっては外からの視線が気になることもあります。ヴァレーマは、窓の良さを生かしつつ、同時に起こりうる窓まわりに関する問題を解消することができる製品です。

例えば、窓ガラスを通過した太陽の光と熱は、室内の温度を上げる原因となります。室内への熱の流入を抑えるには、窓の外側で太陽の光と熱を遮るのが効果的で、最も合理的な省エネ方法です。



ヴァレーマは、太陽の光と熱をコントロールし快適な室内空間をつくります。夏は暑い日差しを窓の外で遮って涼しく、冬は日射しを積極的に取り込んで部屋を明るく暖かくします。

ヴァレーマをつけることで、暑すぎず、眩しすぎず、明るすぎず、一年中ちょうどいい心地よさが実現できます。

また、ヴァレーマは、外からの視線を遮りながら外の景色を室内に取り込み、お部屋の中に開放感と奥行きをもたらします。間取りや条件

にもよりますが、カーテンの代わりにヴァレーマを採用して、スッキリとした窓際の空間を実現している事例も多くあります。

― 製品の主なターゲットとなる使用者や場所などはどのように想定していますか？ ―

住宅からオフィス、幼稚園・保育園、病院・クリニックなどさまざまな物件を想定しています。

例えば住宅の場合は、LDKの大きな窓に採用していただくことが多いです。LDKは家族がリラックスして過ごす場所。大きな窓があつて、太陽の光を採り入れたり、外の景色やお庭の緑などの良い眺めも楽しむことができると思います。ですが、一方で、窓から入る太陽の光と熱が暑すぎたり眩しすぎたり、外からの視線が気になるということも考えられます。そういった、窓の問題点を解消し、窓の良さを最大限に活かすために、外付けブラインドヴァレーマが活躍します。

― 製品を使用したお客様の声の中で印象的な事例があれば、教えてください。 ―

ヴァレーマは、「太陽の位置や角度に合わせて、羽根を適切な角度に調整できる点が魅力」

というお声が印象的です。

日射遮蔽という観点で考えると、窓の外側で太陽光を遮るものは、庇や外付けのルーバー、アウターシェード、オーニングなどいくつか選択肢があるのですが、そういったものと日射の細かな調整ができないですが、ヴァレーマは、ブラインドの羽根の角度を調整して、太陽光のコントロールができるというお話です。

なく、冬もそして春や夏など中間の季節も一年中活躍しているということも印象的なお声の一つです。

― 企業としての今後の方向性や在り方、または将来への展望などをお聞かせください。 ―

ドイツをはじめとするヨーロッパは、自然環境への配慮やそこで過ごす人たちの快適性を追求した品質の良い建材が多くあります。日本では馴染みのない製品であっても、引き続き、住まいや建築の快適性を向上する製品を、ライフスタイルをイメージしていただながら、ご紹介していきたいと考えています。

オスモ & エーデル株式会社
広報

田中 郁江
たなか いくえ

オスモ & エーデル株式会社で10年営業経験後、広報担当に。自然塗料オスモカラーや外付けブラインドヴァレーマなど、オスモ & エーデル取扱製品のPRと、製品だけでなく、ドイツやヨーロッパの建築とライフスタイルについても多くの方に知っていただけるような情報発信を心がけている。



オスモ & エーデル株式会社
兵庫県三木市吉川町上荒川
748-6
0794-72-2001





SumaiRing

老人ホームの入居者様に、心地
よさと癒やされる空間を提供す
るために、両者で創造してきた
ことについて語っていただいた。



— vol.11 —

KYOGO
株式会社加地織物



SOME MAYER
株式会社 サム・メイヤー

150 年以上前に創業した西陣織メーカーである加地織物が、西陣織の可能性を
広めるべく立ち上げたインテリア向け西陣織ブランド KYOGO。そのインテリ
ア事業部の山口氏と、医療・福祉施設や保育園といった案件に対して数多くの
施工を行っているサム・メイヤーの染谷氏とのプロジェクトストーリー。

建築家と建材メーカーはどのようにしてマッチングに至ったか。プロジェクトはどう完結したか。
建材ナビを通じて知り合った、建築家と建材メーカーの両者にインタビュー。知り合ったいきさ
つ、施工案件の内容、施工のコンセプト、材料の選定と提供など、現場のリアルをたっぷり語っ
て頂きました。建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリング」でも同時紹介しています。



共働きでお忙しくされているご夫婦からの、機能性
や快適性を重視するが、デザインも妥協したくない
というご要望に対し、どのようなフォーメーション
で創造に取り組んでいったのか語っていただいた。

— vol.10 —

Prairie Homes
ブレイリーホームズ株式会社



archidate design Inc
アーキデイト デザイン

木という自然素材を中心にフローリングや建具などを豊富に展開し、「経年美
化」を推奨するブレイリーホームズの林氏と、「名古屋で1 番お客さんを幸せに
する家づくり」を目指して、設計・施工・土地購入全てを行うトータルで家づ
くりを提案するアーキデイトデザインの出口氏とのプロジェクトストーリー。

project story
建材ナビ

出会いと 創造

メーカーと建築家の
ジョイントプロジェクト

左) 施主様が感動したフロアリング。色味や風合い。手触りにも満足して頂いた。右) 外観にマッチした玄関ドア



Prairie Homes
ブレイリーホームズ株式会社



archidate design Inc
アーキデイト デザイン

自然素材だから叶う「経年美化」 優雅さや余裕に満ちた暮らしへ

project story
建材ナビ

出会いと 創造

メーカーと建築家の
ジョイントプロジェクト

— vol.10 —



木という自然素材を中心にフローリングや建具などを豊富に展開し、「経年美化」を推奨するブレイリーホームズの林氏と、「名古屋で1番お客さんを幸せにする家づくり」を目指して、設計・施工・土地購入全てを行うトータルで家づくりを提案するアーキデイトデザインの出口氏とのプロジェクトストーリー。共働きの夫婦から、機能性や快適性を重視するが、デザインも妥協したくないというご要望に対し、どのようなフォーメーションで創造に取り組んでいったのか語っていただいた。

然の風合いをこのコストで提供できているメーカーは他にないかなと思います。

また、サンプルの手配は即日のレベルで届きます。私どもは、日々忙しい中、お施主様への提案時期も迫ってきます。レスポンスの速さはとても重要になってくるため、とても助かるところです。千種にできたショールームも決して大きくはありませんが、十分フローリングの違いや良さを体感できる設えになっており、ありがたいです。

——この製品を使用してのご感想はいかがでしょう。

出口 全体的に自然体な風合いはとてもよく、内覧会でも高評価でした。木の風合いの質感を残したウレタンクリアのシリーズもあっても良いかなとは思っています。

ドナオークやクルミのフローリングも検討しました。家全体のテイストより落ち着いた色味、広すぎない幅サイズ、色味、質感、金額面すべての面でこの家には合っているなと想い、お客様と実物を見ながら、ニューオークに決定しました。

——ブレイリーホームズ様とのジョイントはいかがでしたか？

出口 主張しない材やアイテムの品揃えが多く、自社の製品を主張させることなく、シンプルさを顧客は求めています。私はわざわざ適所部材でないものも使ったりします。そういう痒い所に手が届くような製品も今後も作ってもらえると嬉しいですね。引き続きよろしくお願ひいたします。

——施工の際、または完成後に施主様からの感想などございましたか？

出口 施工中は全体にフローリングが貼られるのをとても楽しみにされていました。実際に見てもらった際も大変感動されており、色味や風合い、手触りなどが満足いただいています。

また、玄関ドアも外観にマッチしており、多少金額はしたものの、オークのドアにして本当に良かったとおっしゃっていました。

私もこの家にはオークがマストだったなと思います。別の内覧会に訪れた方からは、風合いがオーダーメイドのような良さを醸し出していたためか、「どこの製作玄関ドアでしょうか？」などという質問もありました。

ブレイリーホームズ(株)

——アーキデイトデザイン様とジョイントに至った経緯を教えてください

林 出口様が東京の設計事務所にお勤め時から弊社商品をご採用頂いていました。名古屋に戻られてご自分でやられるようになり、ショールームのオープン当初から、設計施工されるお施主様といつも一緒に商品の選定にご来場頂いております。

ショールームにご来場時に住宅への考え方や思いを伺い、少しでもお役に立てるようにご提案させて頂いています。

——貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください

林 弊社は木という自然素材を中心に商品をご提供させて頂いています。自然素材という本物の素材は弊社が提唱している「経年美化」を實現でき、愛着を持って手間を掛け、永く使い続けることで、環境の観点からも炭素の固定化



出口 拓耶 (てぐちたくや)

一級建築士。アーキデイトデザイン代表。建設会社で現場監督を経験し、その後、東京のノアノア空間工房の下で設計チーフとして多くの家づくりに携わる。

アーキデイトデザイン

——今回の設計におけるコンセプトをお聞かせください。

出口 ご夫婦は共働きの夫婦で、お忙しいという方々で、「手間がかからず、機能性や快適性を重視した家にしたいが、デザインは妥協したくない」と、今の若い世代の家族を代表したようなご要望でした。家事や育児、仕事には、日々多くの時間を要します。そこで、私は合理的な暮らしの中でも、シンプルな構成で落ち着いた空間の中、陰翳を感じたり、四季の移ろいを感じたり、忙しい中にも大人の優雅さや余裕を感じられる暮らしができる家をテーマにしました。

——ブレイリーホームズ様の製品を採用された決め手は何だったのでしょうか？

出口 私は過去、東京での設計事務所時代から、様々なフローリングメーカーを検討し尽くしたと言ってもいいほど見てきましたが、質感や自

に繋がれると考えています。

また営業が主体となり、商品開発・製造・輸入・販売を行い、お客様のニーズをいち早くお届けできるように活動しているのが強みであり、こだわりです。だからこそマーケットに即した商品を早すぎず遅すぎずの半歩進んだタイミングで市場に提供できています。

——貴社の今後の展開、または将来の展望などをお聞かせください

林 これからの地球環境を考え、「経年美化」を浸透させ、自然素材のすばらしさを世の中に広めていけたらと考えています。

今までは輸入材を中心とした商品展開でしたが、昨今の世界情勢、国内の林業の活性化を考慮し、弊社の国産材比率30%を目標に商品開発も行っています。

最後に弊社の企業活動を通して、多くの方々に住み続けたいと思える素敵な住まい造りのお手伝いができればと思っています。

「ショールームご来場時に住宅への思いを伺い、少しでもお役に立てるようにご提案させて頂きました」



林 正喜 (はやしまさき)

ブレイリーホームズ株式会社 代表取締役社長。建築学部を卒業。大学で学んだ建築知識を活かし、様々な商品開発を行ってきた。令和3年7月に代表取締役役に就任。

ブレイリーホームズ株式会社
愛知県名古屋市中区栄3-17-114
052-930-7855

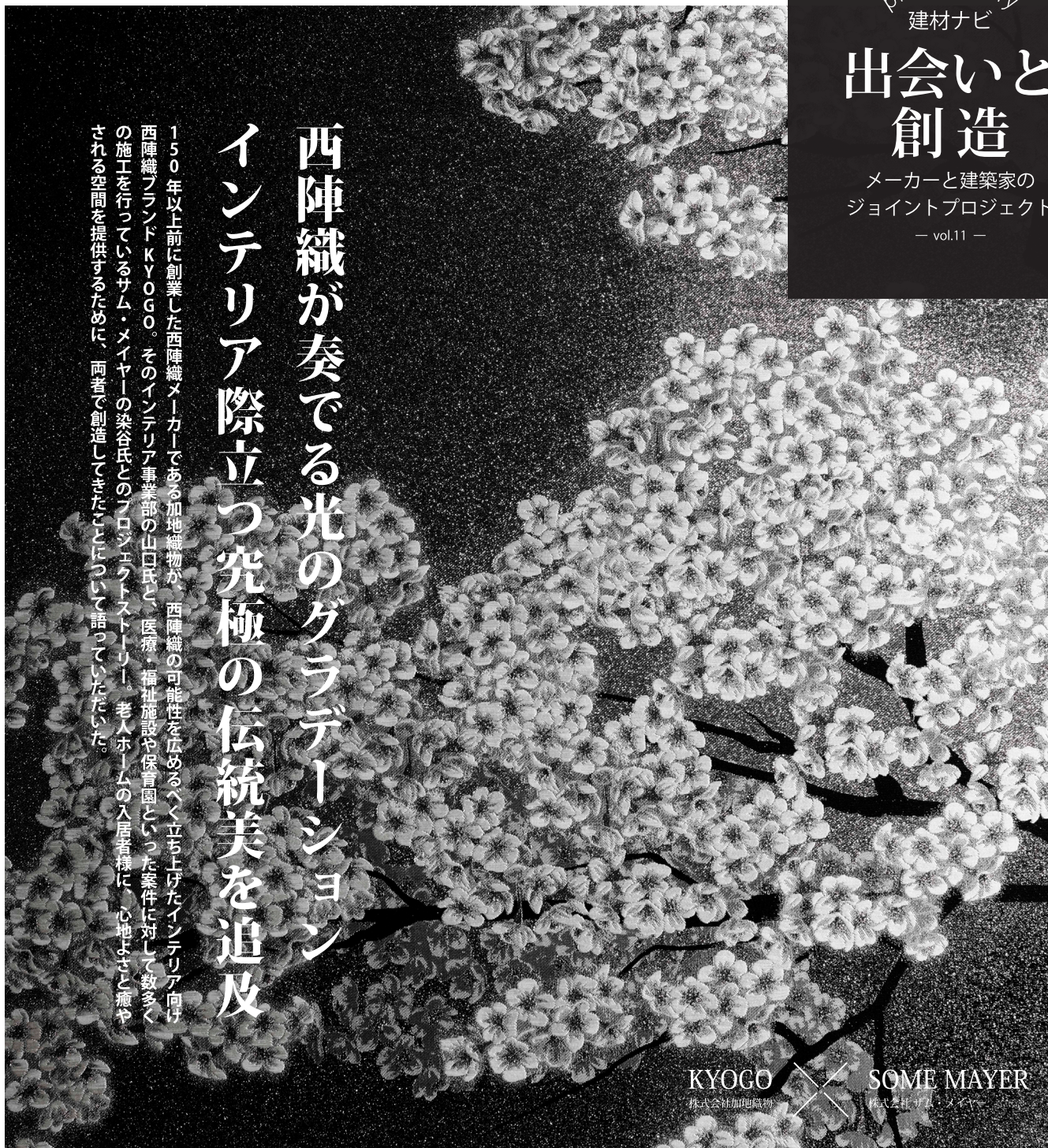


project story
建材ナビ

出会いと創造

メーカーと建築家の
ジョイントプロジェクト

— vol.11 —



KYOGO 株式会社加地織物
SOME MAYER 株式会社サム・メイヤー

西陣織が奏でる光のグラデーション インテリア際立つ究極の伝統美を追及

150年以上前に創業した西陣織メーカーである加地織物が、西陣織の可能性を広めるべく立ち上げたインテリア向け西陣織ブランドKYOGO。そのインテリア事業部の山口氏と、医療・福祉施設や保育園といった案件に対して数多くの施工を行っているサム・メイヤーの染谷氏とのプロジェクトストーリー。老人ホームの入居者様に、心地よさと癒やされる空間を提供するために、両者で創造してきたことについて語っていただいた。

—— 施工の際に留意した、または苦労したところなどはございましたか？

染谷 西陣織という製品の製造過程において、どうしても、製品の幅に制約が生じてしまう為、どのぐらいのサイズが空間に映えるのか、構図はどのようにするのが一番見えがいいか、を一番に留意して考えました。

KYOGO 様には、何度も構図の変更をお願いしたり、細かな微調整もお願いいたしました。が、その都度、すぐに対応していただきました。

—— 完成後に施主様からのご感想などございましたか？

染谷 皆様、西陣織というものを間近で見る機会は、そう多くはないので、間近で見えていただく機会が増えたことは、よかったと思います。

KYOGO 様の西陣織を採用して、空間に華やかさが加味されたこと、建物の品格やグレードを上げることができたことに大変満足しています。

また、機会がございましたら、KYOGO 様の製品を採用したいと思います。



IBUKI003 (silver & white) 経(たて)糸と緯(よこ)糸が織り成す立体構造によって煌めき浮かび上がる自然の数々を表現。時に活き活きと壮大に、時に清らかで神秘的に、生命の'息吹(いぶき)'が聞こえてくるような織物素材。

(株) 加地織物 / KYOGO

—— 今回、サム・メイヤー様に採用された製品について教えてください。

山口 経(たて)糸と緯(よこ)糸が織り成す立体構造によって煌めき浮かび上がる自然を表現したシリーズの中から、光を浴びて闇夜に幻想的に浮かび上がる夜桜を表現した製品です。織物ならではの銀系による光のグラデーションが印象的で静かな中にも力強さのあるデザインとなっています。

—— サム・メイヤー様とコラボに至った経緯を教えてください

山口 サム・メイヤー様より「建材ナビ」を通して資料請求をいただいたのがキッカケです。

—— 製品納入の前に、施主様、またはサム・メイヤー様からのご要望などありましたか

山口 IBUKI003のデザインを2枚のパネルにし、空間を活かして1枚の絵画に見えるようにしたいとのご要望でした。ご要望のサイズにするには、元の製品サイズ(H2200mm×W2880mm(H2200mm×W1440mm×2 pieces))から切り取る必要があったので、ご希望を伺いながらいくつかのパターンをご提案させていただきました。

—— 貴社の製品へのこだわりなどをお聞かせください

山口 西陣織の中でも金襴と呼ばれる分野で伝統的に受け継がれてきた技術と、日々研究している新しい技術とを融合させることで、唯一無二の織物を制作しています。中でも先染め織物

株式会社サム・メイヤー
千葉県山手市名都借1103



「山口様には、構図の変更や細かな微調整もすぐに対応して頂きました。」

染谷 好信 (そめや よしのぶ)

株式会社サム・メイヤー代表。建物全般におけるコーディネートに従事。主に医療・福祉施設や保育園といった案件に携わっており、設計事務所に対してアドバイザーを行う。

サム・メイヤー

—— 今回の設計におけるコンセプトをお聞かせください。

染谷 今回の設計におけるコンセプトは、和風を肌で感じられる老人ホームとしました。

入居者様が、入居中、どの空間においても、落ち着き、心地よさを感じられることと癒やされる空間を目指して計画しております。

—— KYOGO 様の製品を採用された決め手は何だったのでしょうか？

染谷 KYOGO 様の製品は、純和風をベースにしたデザインを踏まえた上で、純和風にも、モダン空間にも合うデザインになっている所が、私たちが採用した一番の理由です。また、デザインの種類が多いことも利点の一つです。

他の製品との比較検討はいたしました。が、KYOGO 様の製品が一番、空間に合うデザインだと思いましたので、採用させていただきました。

特有の立体構造を活かし、見る角度や光の当たり方で大きく表情を変えるデザインや滑らかなグラデーション、奥行き感のある細かな表現を得意としています。

またゼロから完全オリジナルの西陣織ファブリックを制作するオーダーメイド生産も承っています。ご希望に合わせたデザインを弊社専属デザイナーからご提案することが可能です。

—— 貴社の今後の展開、または将来の展望などをお聞かせください

山口 これまでは今回サム・メイヤー様にご発注いただいたようなファブリックパネルや壁紙を主軸として展開しておりましたが、今後は商業施設や公共施設でもご利用いただける摩耗強度のある椅子・ソファの張地など、インテリア製品の幅を広げていきたいと考えています。

また日々研究を重ねることで弊社にしかできない織技術・生地開発を行い、提供することで「加地織物 / KYOGO」を世界に通用するインテリアファブリックブランドにすることが今後の展望です。

「ご要望を伺いながら、いくつかのパターンをご提案させて頂きました」



山口 麻衣 (やまぐち まい)

インテリア事業部所属。アートやファッション業界で働いた経験を活かし、西陣織の可能性を広めるべく KYOGO でしか作れない優雅で感動を生むインテリアファブリックを製作、ご提案しています。

株式会社加地織物
京都府京都市上京区近衛股表町173
0754149502



建築家の見る光景

「人と建物」が紡ぐストーリー



デジタル社会の環境下で求める「本物」「普遍的」であることの意義とは
藤田 慶 株式会社フジタケイ建築設計事務所／KFA



こだわりの強いお客様の時ほど満足度の高い建物に仕上がる
石井 勇人 株式会社 studio acca



「光禅寺認定こども園」
藤田 慶（株式会社フジタケイ建築設計事務所／KFA）

建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリング」でシーン毎に取材している設計士へのインタビュー記事よりピックアップ。住宅、集合住宅、商業施設、公共施設などの施工に取り組む、設計士の体験談をお楽しみください。

SumaiRing





一級建築士 / 京都芸術大学、京都精華大学、摂南大学、非常勤講師

藤田 慶
ふじた けい

香川県生まれ大阪育ち。高槻高校卒業。京都大学工学部建築学科卒業。京都大学大学院修士課程修了。2011 年フジタケイ建築設計室主宰。2018 年フジタケイ建築設計事務所に改称。

京都デザイン賞
京都大学建築学科
100 周年記念コンペ実作部門金賞
WOOD DESIGN 賞
住まいのリフォームコンクール
環境・デザインアワード

作品写真 : 藤原次郎
プロフィール写真: 杉野 圭



株式会社フジタケイ建築設計事務所 / KFA

大阪府高槻市野見町 2 - 8
第 2 今井ビル 4 階
0726-58-9531



デジタル社会の環境下で求める「本物」「普遍的」であることの意義とは

「能動的な行動」を誘発する

教育施設を設計するときは、こどもや学生たちが、何かのアクションを自発的に起こすきっかけづくりを意識しながら計画をしています。施設側が「あなたたちはここでは、このようにして使ってください」と利用者の行動を規定してしまうのではなく、反対に何も無いニユーtralな空間を用意するのではなく、利用者の能動的な行動を誘発するきっかけづくりが、教育施設には重要だと考えています。

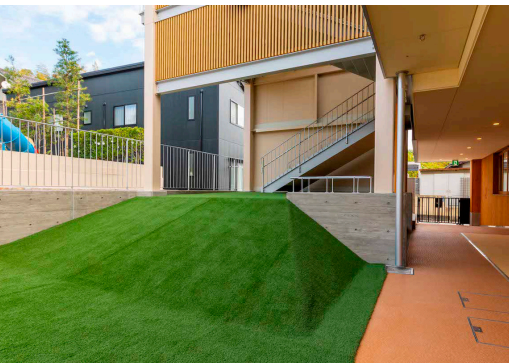
この場所ですごした子供たちや学生さんたちが、公共空間の楽しさを自分たちで発見し、能動的に楽しみながら成長すれば、社会も豊かになるのではという希望をい দিয়ে設計しています。

住まいの物語を未来へ紡ぐ建材

弊社は京都で仕事をさせていただくことも多いのですが、西陣織の会社さんに襷紙を作っていただいたり、施主のご兄弟の陶芸家さんに洗



左、上) 光禅寺認定こども園



ポイント！

「遊び心刺激する小さな丘」 階段を上階への動線という機能だけでなく、子供たちの遊び心を刺激するよう、小さな丘のような場を設置。設計段階では安全性を考慮もう少し緩くすることも検討したが、園の先生方からもう少し勾配をきつくした方が子供達にとっても楽しく感じるのではというご意見もあり、今の勾配に。

トリーがあったからです。特定の建材を適材適所に使うことで、個人や家族、会社、地域などが過去から現在にいたるまで紡いできた物語を未来へ受け継いでいくのではないかと考えています。それぞれの建築のストーリーを紡ぐに相応しい建材を判断し、その建材を空間にどのように参加させるのかを考えることは、設計者の重要な役割だと感じています。

専門家としての「統合力・実践力」が問われている

ネット社会になり沢山の情報が簡単に手に入ることで、勉強熱心な施主の方が増えています。私たちも日々、様々な情報を収集しつつ研鑽を積んではいますが、最新情報を全て知っているわけではありません。そうした個別詳細な情報については、こだわりのあるお施主さんから教えていただくことも少なくなく、反省をしつつもこれが現代社会だと思っています。

一方で、私たちは専門家として個別具体的な情報を統合し、モラルや経験に基づきつつそれぞれの施主に相応しい構想と一緒に考えるようにしています。インプットした多くの情報を統合してアウトプットの実践につなげるのが、私たち専門家の役割だと思っています。施主から難しい注文や無理な注文がくる場合は、与条件の整理や情報の統合ができていない場合が多く、それはある意味当然です。

そこで私たちは専門家かつ実践者として、情報の整理や状況の構造化を、できるかぎり紙面の説明をこころがけています。そして各論の関係性や優先順位などについて、施主と一緒に考えるようにしています。

「つながり」に溢れる昨今、住宅は「ひとりの時間」を守る最後の砦

インスタグラムやPinterest等のSNSには美しい空間の画像が溢れています。

私たち住宅建設に携わる者たちは、こうしたトレンドもチェックしておかなければ、世の中のスピードから取り残されてしまうという危機感もっています。

今まで建てる側・販売する側の論理（効率重視や販売しやすさなど）で作られていた多くの住宅や集合住宅が、今後住う側の立場（実際の住み心地）で建物が建てられていくという流れになれば、住宅業界としては喜ばしいことだと思います。

一方で、こうしたデジタル社会の環境が世の中にどんどん溢れてくると、逆説的に、本物であること、普遍的であることが求められる社会に少しずつなっていくとも思います。家が古くなればなるほど美しくなり、愛着がわくといった意識が少しずつ世の中に受け入れられ始めていけば、成熟した社会になっていくと考えています。

またSNSやスマートフォンなどの発達により、私たちがひとりである時間はどんどん少なくなってきました。家の中でも仕事をしたりと、個人のプライベートな時間や空間が「つながり」によって侵食されつつあります。こうした状況下で住宅は、プライベートな時間や空間を守る最後の砦といえるかもしれません。

「つながる」ことから疲れた個人や家族が癒されたリ、リラックスできたりする物理的な場所が住宅や庭に今まで以上に求められるようになる気がしています。



上、左) 関西国際大学 カフェテリア レンガ壁の高さに凹凸を設けており、腰をかけたり、窓台のような場所に本や観葉植物を置いたりできるようにしつらえている。

ポイント！ 「凹凸高さのレンガ壁」 学生さんたちが、このレンガ壁の面白い使い方を発見するようになれば、実際の街に出ても同じように楽しめることができるようになると思った。



一級建築士

石井 勇人
いしい はやと

日本大学生産工学部建築工学科卒。(株)アルフレックスジャパン勤務を経て渡伊。Istituto Europeo di Design (ミラノ)、イタリア人建築家 Daniela Puppa 事務所 (ミラノ) 勤務。その後、Bormioli & Rocco (フィデンツァ) のワークショップ参加。2004 年 studio acca 一級建築士事務所設立。2017 年 株式会社 studio acca 設立

2003 年 "MADE IN TUSCANY"(SALONE DEL MOBILE FIRENZE) 入選。
2008 年 "ディスプレイデザイン賞 2008" 入選 (GMK 本社ビル)



株式会社 studio acca

(スタジオ アッカ 一級建築士事務所)

東京都杉並区阿佐谷南

3-49-2-201

03-6913-8189



こだわりの強いお客様の時ほど満足度の高い建物に仕上がる

家づくりについて、しっかり話し合い最適なパフォーマンスで対応

ご相談内容がどの様な事であったとしても、家づくりや建築に関わる事であれば、まずはその方の話をしっかりと聞かせて頂いています。その上で、私達が直接お手伝い出来ることなのか、又は私達が関わるよりも他の方を紹介した方が良い事なのかを判断しています。

当然、ビジネスとしては私達がお仕事として取り組めるに越したことは無いのですが、その方が求めておられる事と私達が提供出来るサービスにギャップがあった場合には、お互いにとってハッピーな結果にはなりにくいと思いま

すので、最適と思われる方法をご紹介させて頂いています。設計依頼の場合には、進め方を説明させて頂いた上で、まずは現地を確認させて頂けます。敷地図や写真だけでは把握しきれない、近隣との距離や敷地の高低差、見える景色等の現地の状況を確認した上で、プランを提案させて頂きます。

やりたい事と、出来る事の擦合せをしながらい建物を作っていく

設計事務所の案件は詳細まで詰めている場合が多いので、どうしても工事業者様に対して

依頼内容も細かく、かつ、イレギュラーなものになりがちです。その様な時、実際に作る側としての前向きな意見を頂けるととても助かります。やりたい事と出来る事の擦合せをしながらい建物を作っていきたいと考えています。

それから現場でのコミュニケーションとしては、私たちが知らない納め方や課題点も多くあるので、どのように作ったのかとか、実はどの部分が大変なのかとか、率先して話し掛ける事を意識しています。

案件の当事者同士で何度も話し、一緒に悩むことで得るものは

面白かった案件はいくつもあります。そのほとんどが、こだわりの強いお客様です。一緒に考えて、何度も話し合いをして、何度も図面を変更して、と言う感じで、正直言っても手間は掛かっているのですが、最終的に満足度が高く完成度も高い建物になっていると実感しています。

全て任せて頂けるのもありがたいのですが、やはり私たち設計者も迷うことがあります。その様な時に、案件の当事者同士で一緒に悩んでいくことで、確実により良い建物になっていると感じます。

お客様の方で、色々な情報を調べて私達に教えて頂けることは大変ありがたいです。その都度私達も勉強させて頂いています。

最近では、ネットの情報を元に、プランや仕上げに対するご要望を頂く事があります。ただ、ネットの情報が間違っているとは思いませんが、あくまでもネット上の情報なので、鵜呑みにされるのは危険な場合もあると感じています。

私達は、建物全体の意匠上のバランスやコスト面、今までの経験値、建物の立地条件、お施主様のご要望されている使い方を踏まえた上で、提案をさせて頂いていますので、お施主様からご提案頂いた内容が今回の案件にはそぐわないなど感じた場合には、お施主様に内容を説明させて頂き、その上で良い解決策を得られるように努めます。

ご要望の本質はぶれないよう心掛ける

基本的には、難しい注文をされる方が多いです笑。毎度の事です。頭を悩ませています。しかしながら、私達は、建物を空中に浮かせる以外の事はだいたい解決出来ると思って設計に取り組んでいますので、なぜそれをやりたいのかを伺った上で、解決策を提案しています。その解決策が必ずしもお客様の要望通りでは無いかもしれませんが、お客様のご要望の本質の部分はぶれない様にしたいと考えています。

お客様は、ご自身がその建物でやりたい事を整理して頂き、その内容を設計者に伝えて頂いた方が良いでしょう。難しく考える必要はなく、『外で食事をしたい』とか『明るい家が良い』とか、『テレビは大きい画面で寝転んで観たい』とかそんな程度で。

写真や図面などを見せて頂くのはもちろん情報共有として大変助かるのですが、なぜその空間が必要なのかと言う本質的な部分を設計者に知ってもらう事が、設計者の最高の提案を引き出す有益な情報になります。



バルコニー 河口湖一望のバルコニー。バーベキューをしながら語らい、夜は星を見ながら過ごせる。

hotel norm. air

2022 年に設計した河口湖畔のプライベートホテル。



上) シャワー & パウダールーム 美しい円形のミラーがある洗面室。下) ホテル外観 窓からは河口湖の空・森・湖が望まれる。駐車場は3台分。EVスタンドも完備。

建材情報をトータル配信 じっくり調べたい



800 社 18000 製品

最新の建材ニュース、建材製品検索、製品動画やショールームの閲覧、業界記事、
設計士や建材メーカーへのインタビューなど、建材業界のことなら「建材ナビ」にお任せください。



News

新製品発売や、展示会の情報など業界ニュースを閲覧できます。



Interview

設計士や建材メーカーの取材記事を紹介しています。



Product

建材製品の検索、閲覧、取寄せお問合せ等ができます。



Article

建材に関する役立つ記事、業界のコラム記事等を紹介しています。



Movie

動画で紹介している製品も多数ございます。



Q&A

製品や施工に関する悩みやアンサーを投稿できるフォーラム



Showroom

メーカーショールームを紹介。VRのショールームもあります。



Outlet

不要になった建材製品のアウトレット販売をしています。

カタログの探しやすさに特化 さくさく見たい



4000 カタログ 16000 ギャラリー

「かたなび」はカタログの探しやすさにこだわりました。最新の建材カタログがすぐ見つかります。
また選んだカタログはすぐ閲覧できて、他にも取り寄せや、相談・見積依頼も可能です。

施工ギャラリーから探すこともできます。

